

発行所 田代村公民館  
 電話 19番  
 発行責任者 小川 兵一  
 編集責任者 白桃 進  
 大根占町神之浜  
 三開社印刷部 電 70

田代村公民館長 小川 兵一

「明るく人間関係を確立して親和協力する」と云つても、何でもかんでも、御無理御尤で、波風立てず、御調子を合せて行つと云うのはありません。

総ての人と此のような交りは出来ないでしょうが、少なくとも之に近いような交りが出来るように、お互いが努力することによつて

のは良し悪しは、そのまゝの人の交りの良し悪しとなつて現われるのであります。

こう考へて来ると「明るく人間関係」を支える二本

良いことは悪いように、は  
悪いことは悪い村民の間  
つくり云々の云々、悪い点は  
も栗空の論でなくなるので  
はないでしょうか。

今年の努力目標である「明  
しい人間関係を確立して親  
戚協力の実をあげる」こと  
ましよう。

其処で今年度の努力目標  
の柱は片や心であり、片や  
の進め力ではありますが、村

を伸ばし、仲良く協力して経済的にも精神的にも住みやすい田代村を築きましようとするのです。

男達が酒を飲んだら、良民の健全な心を育てる運動  
いいことと思ひ、何でも、は、は、従来通り、明るい社会  
つきり物が言えるようにな  
建設講習会、道德教育講演  
り、見違える程明るい人間会、宗教講堂、部落の道德

何のこだわりもなく、はつきり物が云える間柄ほど美しい人間関係はないでしょうが、肉親以上にはつきり物が言えるのは、何と云う関係と云えないでしょ

関係が出来ますが、酒の勢を借りなければ、はつきり物が云えないようでは、まだく真の意味の明るい人間関係とは云えないでしょ

の訓練強熟に力を注ぐべき柱である言葉（ことのは）

会、グループ活動、各種の学級、講座、会合等を通じて継続しながら、一方の文

つても親友の間柄でしよう  
喜びにつけ悲しみにつけ  
共に喜び共に悲しみ、常に  
目に見えぬ心の支柱となっ  
てゐる。人と人との間に、  
温い心が通ひ

だと思っています。  
その方法として、さしあ  
たり考えていることは。

第一、家族会議の奨励普

て、失敗に対しては、悪い  
 合って、初めて其処に明る  
 い人間関係は生れるのです  
 が、心はことのは言葉と  
 云う掛橋を渡って相手に伝  
 わるのであります、こと  
 家族全員がうちとけた話し  
 及を語る。

昨年より募集中の公民館建設資金として、今回又次のとおり寄附がありましたので、村民の皆様にお知らせいたしまして、寄附者へのお礼にかえさせていた  
だきます。

邊志切部落 袖山ヤエノ

尚今後ご寄附のありました時は、この欄を使用させていただきましますので村民の皆さんともしご協力くださいまして、1日も早く皆さんの集いの場、憩いの場としての本館が出来ます様に当局では念願しております。

正月に行われた  
村の主なこと

1月1日 拝賀式が田代小学  
校、田代中学校、大原小学校  
の3ヶ所において挙行され、

1月10日 消防団出初め式  
が田代小学校々庭において行  
われた。

1月11日 興農推進委員研  
修会が大原中学校において行  
われた。

1月12日 興農推進委員研  
修会が役場議事堂および川原  
保育園において行われた。

1月13日 県下一週駅伝本  
村を通過、田代より近川君が  
出場した。

1日15日 成人式および講演会が田代小学校講堂において挙行された。講師は熊本

学教授薬学博士、小山鷹二  
先生  
1月18日 協同養豚の経営

研修会が役場議事堂において  
行われた。

1月22日 村内卓球大会が

団体8チーム、個人23名が  
参加して田代小学校講堂にお  
いて行われた。

成人式盛大に挙行

同時に講演会も開催さる

相手の立場も良く考えて物  
を云うこと。

四、私事と公事を混同し  
て、公事に個人感情をさし  
はさまないこと。

◎聴く立場からは  
一、人から欠点を指摘さ  
れたとしても、すぐ感情的になら  
ず、すなおな気持で傾聴す  
ること。

二、話し上手は聴き上手  
話の聴き方で知っておきな  
いこと。

上の聴き方―は心で聴く―

自己を改め人に好かれる  
 中の聴き方Ⅱ頭で聴く→理  
 屈を云うから人にきら  
 われる。

---

下の聴き方Ⅱ目で聴く→話  
 手の動作だけ見て、後  
 に何ものこらない。

---

今年の努力目標の推進方  
 策については、まだ／＼申  
 し足りませんが、紙面の都  
 合で後は又次号にゆずらし  
 て戴きます。

× × ×

終り指導者層では資金の欠乏と自国民の啓蒙に躍起になって居る実情であります  
即ち印度のネル首相等も中立政策を唱へ乍らアメリカ及びソ連から開発資金の融資を希望して居り、  
かたがたい。苦しむのは私  
なんだから、はっきりとい  
れと云うのだが、大人は黙  
っておれない  
それはデカタンであり、す  
て鉢、自己嗜欲がひそんで  
いるからである  
余りに自己を過信し、もう  
私は自分で考えることが出

に終りました。

各国の実情については省略致しますが訪問した各国では前述致しました通り民族意識が強まり各々五ヶ年乃至七ヶ年計画で産業振興計画を立て実行に移して居る実情であります。

若い人と話していると、その純粹さと鋭い知性に感服するが、自分の行動のことになるときまづ「いいからほっとくれ」とくる私の好きな事をして私がひ



写真は 昭和36年度成人者一同と来賓ならびに村当局の皆さん (山下 保 氏 撮影)

に於ける青年は、  
 武幹部の指揮に  
 より進められ、  
 式場には村婦人  
 が提供の結願な  
 生花が飾られ、  
 成人者六十一名  
 （男三十一名、  
 女三十名）は和  
 夫氏の力強い官  
 誓がなされ、村  
 長、公民館長、  
 婦人会会長よりそ  
 れぞれ記念品が  
 贈呈され、最後  
 に成人者一同に  
 代って大中原ノ  
 リ子さんの心か  
 らのお礼の言葉  
 が述べられ午前  
 十一時厳肅の裡  
 に終了しました  
 その後、熊本  
 大学教授薬学博  
 士、小山鷹二先

東南アジア諸国の印象  
柴立芳文

からもアジアの  
 リーダーである  
 日本とか偉大な  
 る日本人という  
 意味の挨拶を受  
 けたりしたこと  
 でもわかったと思  
 いました。  
 この様に第二  
 次世界大戦で日  
 本が敗れた国もあり  
 日本もある事を覚悟  
 しましたが全然杞憂  
 ではありません  
 問題になる実情の様で  
 各国とも国民の階層が  
 つきりしていて一般の人  
 は簡単な生活で非文化的  
 貧乏であるのに一部の支  
 階級は文化的で富裕な生  
 であり福祉国家としては  
 で日本の明治維新以前の  
 会機構を思わせるものが  
 り、義務教育施設等ではセ  
 ロンを除き幼稚そのもの  
 思われました。  
 三月号につづく

集つた四百余名の村民、大きな感銘を与えました。成人式および講演会終了後、公民館よりのお茶菓子と格食を前にして、和やかな開宴の中で成人者一同を招き、小山博士、村当局、日本人会幹部、青年団幹部等々を食を共にしつゝ時間の経つのも忘れる懇談のうちに午後二時、全日程を終りました。

印度の世界農業博覧会を先学した時も沢山の印度人を日本人だと聞かして愛想良く話しかけると

粉事等がありその経済政策と外交との調整に苦慮し居るところであると云えしやう。

印度のみならず他の諸も二大陣営からの経済援を財源として自国の開発を急ぎたいと云うところで、国や民族の将来について安全であるという確信なくどことなく淋しさをじます。

只印度、セイロン、ビルマでは開発に際して国民について来ない悩みがありタイ以外の諸国では支那が経済的な美権を握つて

好きなことをする。相手や周囲のことを考える余裕がない。ただ自分の欲望にだだだに忠実であらうとする考え方、生方である。自分への欲望を貫らぬかずにおそれないこの生き方をする者は社会が悪いのだ。大人が悪いのだ。環境がよくないからだとなげき、私が誘惑に負けたのは私が弱いからではなくては誘惑が強すぎたのだと結論をおろすようである。私は青年にもっと自主的であれと云いたい。

「とにかく自分のしたいことをやらせてほしい。失敗したら自分が責任をとる。あなたの方に決して迷惑をかけない」と彼等は言う——  
 実に立派に聞える。  
 だが責任をとるということは一、たいいどんな事なのだろうか。責任とは自分に対する責任なのか、それとも社会に対する責任なのか。自分ですべてみるということとは確かに貴重なことであり、尊いことである。だが自分であらたに手ざぐりたやつである前になせ大人たちの意見に耳を傾けることがそれ程いやかなのか。  
 大人の意見を聞くこと、やつてみようとする勇氣がくだるのであらうか。



